ＰＤＣＡサイクル評価票

評価項目	Plan （計画）	Do （実行）	Check （評価）	Act （改善）
緩和ケアチームによる新規診療症例数（平成30年７月1日～12月末日）	50件	各部署のリンクナースへ呼びかけ意識の改革を図る。がん性疼痛CNと緩和ケアＣＮと化学療法CNとで担当患者を割り振り、情報収集と緩和ケアチームで症例件数に繋げていけるよう取り組む。	チーム新規症例数43件。 各部署のリンクナースと協働、各認定看護師とも情報共有し緩和チームで取り組んだが、症状緩和が出来ているケースもありチームとして関わる件数が少なかった。また、リハビリなどから介入依頼などあり情報共有に繋がってきている。	当院でのがん患者のみならず、非がんの患者への症状緩和に繋げていけるよう、緩和チームで情報共有し、症例件数数に繋げていけるよう取り組む。
苦痛のスクリーニングシート活用件数	50件	苦痛のスクリーニングシートの活用が拡大できるよう、関連部署に運用方法や必要性について説明する。また、対象患者に必要なケアが提供でき、緩和チームの依頼件数の増加に繋げていく。	H30年4月～12月　　518件。 苦痛のスクリーニングシートの活用は化学療法室、外科病棟で運用しているが活用しているのかというと疑問が残る。対象患者には認定看護師や認定薬剤師などに繋いでいくようにはしている。	今後は苦痛のスクリーニングシートを一部見直しを行い、現在の活用方法など患者にアンケート調査を行っている。そのうえで、課題を明らかにしていく。結果をもとに、当院の活用方法を検討し、関連部署へと拡大していく。